

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	汚染水処理 (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	放射能汚染水中の放射性セシウム、トリチウム等の低減、及び濃縮処理
御提案者	東海メンテナンス株式会社 渡辺賢治
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>アースラブ式・有機物減量システムを応用したもので、渦巻き式・攪拌減量装置と酵素活性化補助剤 (アースラブ・リンネ) を組み合わせた「クローズド濃縮減量システム」</p> <p>特徴1) 水分の大幅な減量化が起きる。渦巻き装置内を水温 50℃～60℃に保つと 1 日に 20%以上の水分が減少します。汚染水の場合は米糠を少量添加します。減った分、汚染水を投入して行く事で汚染水の量を減らす事が可能となります。</p> <p>特徴2) 実証が必要ですが、放射能レベルの低減化の可能性があるとされます。当社が昨年度行いました、汚染焼却灰の放射性セシウムの低減実験で、実験手法データ等に大きな間違いが無ければ、低減化の可能性もあると考えます。</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) 本装置は短期間で製造及び設置を行う事が可能です。 開発・実用化に向けた課題・留意点 渦巻き装置内を水温 50℃～60℃に保つと 1 日に 20%以上の水分が減少しますが、一部蒸発しますので、トリチウムが飛散する可能性があります。実証し、必要であれば回収する方法について検討が必要です。 その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) (有)アースラブ・ニッポン 矢部栄次 が特許を取得 (但し有機物減量化技術) 	